

○化粧品の効能の範囲の改正について

(平成23年7月21日)

(薬食発0721第1号)

(各都道府県知事あて厚生労働省医薬食品局長通知)

化粧品の効能の範囲については、昭和36年2月8日付け薬発第44号薬務局長通知「薬事法の施行について」の別表第1で定め、平成12年12月28日付け医薬発第1339号医薬安全局長通知「化粧品の効能の範囲の改正について」により改正したところであるが、今般、その効能の範囲について、下記のとおり改正し、別紙のとおりとしたので、貴管下関係業者に対して周知徹底をお願いする。

記

1. 別表第1に次の1項を加える。

(56) 乾燥による小ジワを目立たなくする。

別紙

別表第1

- (1) 頭皮、毛髪を清浄にする。
- (2) 香りにより毛髪、頭皮の不快臭を抑える。
- (3) 頭皮、毛髪をすこやかに保つ。
- (4) 毛髪にはり、こしを与える。
- (5) 頭皮、毛髪にうるおいを与える。
- (6) 頭皮、毛髪のうるおいを保つ。
- (7) 毛髪をしなやかにする。
- (8) クシどおりをよくする。
- (9) 毛髪のつやを保つ。
- (10) 毛髪につやを与える。
- (11) フケ、カユミがとれる。
- (12) フケ、カユミを抑える。
- (13) 毛髪の水分、油分を補い保つ。
- (14) 裂毛、切毛、枝毛を防ぐ。
- (15) 髮型を整え、保持する。
- (16) 毛髪の帯電を防止する。
- (17) (汚れをおとすことにより)皮膚を清浄にする。
- (18) (洗浄により)ニキビ、アセモを防ぐ(洗顔料)。
- (19) 肌を整える。
- (20) 肌のキメを整える。
- (21) 皮膚をすこやかに保つ。
- (22) 肌荒れを防ぐ。
- (23) 肌をひきしめる。
- (24) 皮膚にうるおいを与える。
- (25) 皮膚の水分、油分を補い保つ。
- (26) 皮膚の柔軟性を保つ。
- (27) 皮膚を保護する。
- (28) 皮膚の乾燥を防ぐ。
- (29) 肌を柔らげる。
- (30) 肌にはりを与える。
- (31) 肌にツヤを与える。
- (32) 肌を滑らかにする。
- (33) ひげを剃りやすくする。
- (34) ひげそり後の肌を整える。
- (35) あせもを防ぐ(打粉)。
- (36) 日やけを防ぐ。
- (37) 日やけによるシミ、ソバカスを防ぐ。
- (38) 芳香を与える。
- (39) 爪を保護する。
- (40) 爪をすこやかに保つ。
- (41) 爪にうるおいを与える。
- (42) 口唇の荒れを防ぐ。
- (43) 口唇のキメを整える。

- (44) 口唇にうるおいを与える。
 - (45) 口唇をすこやかにする。
 - (46) 口唇を保護する。口唇の乾燥を防ぐ。
 - (47) 口唇の乾燥によるカサツキを防ぐ。
 - (48) 口唇を滑らかにする。
 - (49) ムシ歯を防ぐ(使用時にブラッシングを行う歯みがき類)。
 - (50) 歯を白くする(使用時にブラッシングを行う歯みがき類)。
 - (51) 齒垢を除去する(使用時にブラッシングを行う歯みがき類)。
 - (52) 口中を浄化する(歯みがき類)。
 - (53) 口臭を防ぐ(歯みがき類)。
 - (54) 歯のやにを取る(使用時にブラッシングを行う歯みがき類)。
 - (55) 齒石の沈着を防ぐ(使用時にブラッシングを行う歯みがき類)。
 - (56) 乾燥による小ジワを目立たなくする。
- 注1) 例えば、「補い保つ」は「補う」あるいは「保つ」との効能でも可とする。
- 注2) 「皮膚」と「肌」の使い分けは可とする。
- 注3) ()内は、効能には含めないが、使用形態から考慮して、限定するものである。